

# 排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

メロン温室への木質ペレットボイラー導入事業

排出削減事業者名：宮本農園

排出削減事業共同実施者名：株式会社F Tカーボン

その他関連事業者名：

## 1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	宮本農園
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	メロン温室
排出削減事業共同実施者（J-クレジット保有予定者）	
排出削減事業 共同実施者名	株式会社F Tカーボン
その他関連事業者	
関連事業者名	

## 2 排出削減活動の概要

### 2.1 排出削減事業の名称

メロン温室への木質ペレットボイラー導入事業

### 2.2 排出削減事業の目的

メロン温室の加温用のボイラーを、重油ボイラーから木質ペレットボイラーに転換することにより、重油使用量やCO<sub>2</sub>排出量を削減する。

### 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

ボイラーの更新により、重油から木質バイオマスへの燃料転換を行い、CO<sub>2</sub>の排出削減を行う。  
なお、A重油ボイラーはバックアップとして引き続き利用する。

### 2.4 J-クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

### 2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

変更なし

### 3 排出削減活動期間

#### 3.1 プロジェクト開始日

2011年12月2日

#### 3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2016年4月1日 ～ 2019年12月1日

### 4 温室効果ガス排出削減量

#### 4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

#### 4.2 活動量

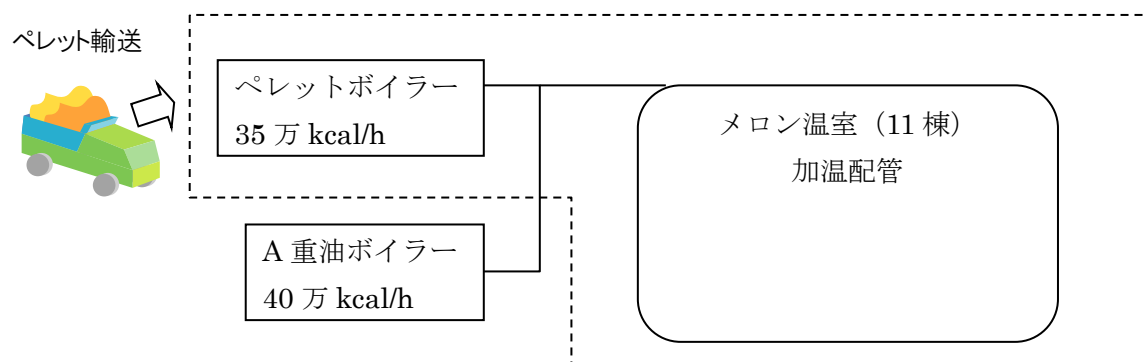
##### 4.2.1 活動量・原単位

活動量・原単位は採用しない。

##### 4.2.2 活動量の採用根拠

活動量は採用しない。

#### 4.3 事業の範囲 (バウンダリー)



## 5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更ある場合、) 変更理由
$F_{\text{fuel,PJ}}$	木質バイオマス使用量	t	【2016年度】103.350 【2017年度】172.900 【2018年度】165.750 【2019年度】68.992	請求書	変更なし
$LV_{\text{fuel,PJ}}$	木質バイオマスの単位発熱量	GJ/t	【2016年度】18.1 【2017年度】18.0 【2018年度】17.6 【2019年度】18.5	分析報告書	変更なし
$\varepsilon_{\text{PJ}}$	事業実施後バイオマスボイラ効率	%	85.68 (低位発熱量)	カタログ値	変更なし
$\varepsilon_{\text{BL}}$	事業実施前 A 重油ボイラ効率	%	86.85 (低位発熱量)	カタログ値	変更なし
$CF_{\text{fuel,BL}}$	A 重油の単位発熱量あたりの CO2 排出係数	tCO2/GJ	0.0745 (低位発熱量)	J-クレジット制度の デフォルト値	変更なし

## 6 排出削減量の計算

### 6.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
EM <sub>PJ</sub>			0.0 (t-CO <sub>2</sub> )

### 6.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
103.350 (t) 85.68 (%) 86.85 (%)	18.1 (GJ/t)	0.0745(tCO <sub>2</sub> /GJ)	
172.900 (t) 85.68 (%) 86.85 (%)	18.0 (GJ/t)	0.0745(tCO <sub>2</sub> /GJ)	
165.750 (t) 85.68 (%) 86.85 (%)	17.6 (GJ/t)	0.0745(tCO <sub>2</sub> /GJ)	
68.992 (t) 85.68 (%) 86.85 (%)	18.5(GJ/t)	0.0745(tCO <sub>2</sub> /GJ)	
EM <sub>BL</sub>			674.7 (t-CO <sub>2</sub> )

### 6.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
			0
LE			0

### 6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM <sub>BL</sub>	674.7
事業実施後排出量 (7.1)	EM <sub>PJ</sub>	0.0
リークージ排出量 (7.3)	LE	0
温室効果ガス排出削減量	ER	674

## 7 省エネルギー量

本事業は、再生可能エネルギーを利用するプロジェクトのため、省エネルギー量はない。

## 8 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (2016年4月1日 ~ 2019年12月1日)			
		エネルギー使用量	熱量換算 (GJ)	原油換算(kl)
	単位	(実績)	(実績)	(実績)
バイオマス利用量	t	510.992 t	9,176 GJ	236.8 kL